

世話人会議事録

2008年3月22日(土) 18:00～
ニューオータニ高岡 5F有磯

出席者(司会:白川DR)

村上先生 北川先生 平野先生 稲尾先生 小関先生 白川先生 野田先生
斉藤先生

★第三回の当番世話人

世話人会として稲尾先生を推薦

稲生先生「問題として高岡医師会会長・副会長が世話人なので立場上、他病院(厚生連・高市)との連携を考慮しなければならない。そこだけご配慮願う。」

白川DR「次回当番世話人は稲尾DRで決定」

★第三回開催時期は

白川DR「9月6日(土)ニューオータニ高岡で開催」

★第三回開催内容について

村上DR「特別講演は国立がんセンター中央病院的場先生にお願いしている。お忙しい先生なのでみなさんの許可をいただく前に講演を依頼し、内諾いただいた。的場DRより済生会の緩和ケアのラウンドが見たいとの要望もあるくらい、非常に積極的にかかわってくれている」

「特別講演の前の企画としては何がよいか？」

「症例報告はどうか？」「在宅での看取りや夜中の呼び出しなど、具体的な問題点がわかりいいと思う」

村上DR「在宅連携患者は10人いるそのなかで3人看取り」

白川DR「症例報告3～4例で決定としましょう」

村上DR「4回目で行政の人間を呼んで富山県の考えをうかがいたい」

稲尾DR「地域医療計画のなかで国は4疾病5事業にがんはあるが在宅はない、しかし富山は在宅が遅れているので県として高齢福祉課が取り組んでいる。高齢福祉課に声をかければ来てくれると思う。」

白川DR「とりあえず厚生部にアプローチしましょう。」

★今後の運営について、

白川DR「年2回が妥当、半年2回の小部会も従来どおりの運営でいきましょう」

村上DR「厚生連と高岡市民の参加をどう働きかけるか。」

北川DR「済生会中心で高岡在宅緩和医療を進めることは両院長（厚生連、高市）から了解をもらっている。」

白川DR「北川先生から両院長（厚生連、高市）に参加を求めてもらい、次回の世話人に各1名推薦いただくよう働きかけてください」

★世話人の変更について、

深島先生から長谷田先生 八田先生から平野先生へ

以 上